

株式会社メニコン

2025年3月期 決算説明資料

証券コード：7780

2025年5月16日

- I 2025年3月期 連結業績概要
- II 2026年3月期通期 連結業績予想
- III 中期経営計画（アップデート）
- IV 株主還元方針と配当予想

I .2025年3月期 連結業績概要

2025年3月期 連結業績サマリー

(百万円)	2024/3期	2025/3期	前年同期比
売上高	116,192	121,491	+4.6%
売上原価	55,181	56,411	+2.2%
(原価率)	47.5%	46.4%	(△1.1pt)
売上総利益	61,010	65,080	+6.7%
販売費及び一般管理費	52,058	55,028	+5.7%
(売上高販管費率)	44.8%	45.3%	(+0.5pt)
営業利益	8,951	10,051	+12.3%
(売上高営業利益率)	7.7%	8.3%	(+0.6pt)
EBITDA*	16,900	18,502	+9.5%
(EBITDAマージン)	14.5%	15.2%	(+0.7pt)
経常利益	8,225	9,607	+16.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,538	5,621	+23.8%

* EBITDAは営業利益、減価償却費、のれん償却額から算出

(参考)過去の数値は以下のデータブックよりご確認ください。

<https://www.menicon.co.jp/company/ir/databook.html>



2025年3月期 連結業績 決算のポイント

1DAYは国内での販売拡大により伸長、オルソ関連は中国での景気停滞や競争環境激化等により横ばい
将来の成長のための投資実行するも、国内価格改定効果や活動費用の効率化により利益伸長

売上高 1,214億円 **前年同期比** +4.6%

ビジョンケア事業 **売上高** 1,123億円 **前年同期比** +5.1%（現地通貨建による伸長 +3.6%）

↑ 1DAY: ヌル会員数増加/国内販売拡大、国内価格改定による増収効果 ➡ オルソ関連: 中国での競争環境激化等で横ばい

ヘルスケア・ライフケア事業 **売上高** 91億円 **前年同期比** △1.5%（現地通貨建による伸長 △1.9%）

↑ 国内での価格改定効果、米国への販路拡大 ↓ 中国での食品事業規模縮小

売上総利益 650億円 **前年同期比** +6.7% ・ ↑ 1DAY売上拡大による増収効果, 国内での価格改定による収益性向上

営業利益 100億円 **前年同期比** +12.3% ・ 将来の成長のための投資（新工場、人的補強、研究開発）を強化

EBITDA 185億円 **前年同期比** +9.5% ・ ↑ 国内価格改定効果や活動費用の効率化により利益伸長

当期純利益 56億円 **前年同期比** +23.8% ・ 転換社債償還による新株予約権戻入益を16億円計上

・ 構造改革に伴う特別損失等費用を18億円計上

売上高の内訳

(百万円)	2024/3期	2025/3期	前年同期比
売上高	116,192	121,491	+4.6%
ビジョンケア	106,887	112,327	+5.1%
1DAY	28,429	30,940	+8.8%
国内_メルスプラン*1	20,740	22,458	+8.3%
国内_物販*2	4,711	5,740	+21.9%
海外	2,977	2,742	△7.9%
オルソケラトロジー関連	15,001	14,889	△0.7%
オルソK（グローバル）	5,537	5,748	+3.8%
レンズケア（アジア）	9,463	9,141	△3.4%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	63,456	66,496	+4.8%
メルスプラン*1	25,718	27,325	+6.2%
コンタクトレンズ	27,405	28,458	+3.8%
レンズケア（アジア以外）	10,332	10,713	+3.7%
ヘルスケア・ライフケア	9,304	9,163	△1.5%

*1 2025/3期 メルスプラン売上高：49,783百万円（前年同期比+7.2%）

*2 「物販」はコンタクトレンズ・レンズケアを指す

(参考)過去の数値は以下のデータブックよりご確認ください。5

<https://www.menicon.co.jp/company/ir/databook.html>

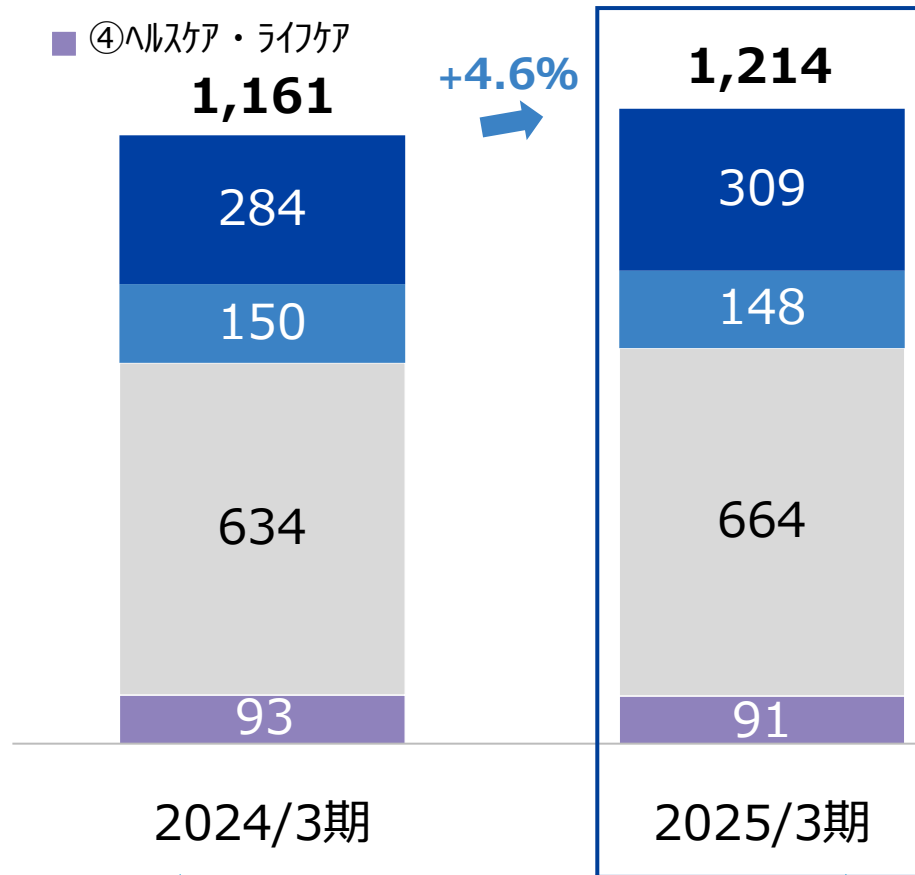
国内での価格改定効果に加え、国内での1DAY及び欧州での1MONTH販売拡大により伸長

(億円) ■ ①1DAY

■ ②オルソケラトロジー関連

■ ③その他コンタクトレンズ・レンズケア

■ ④ヘルスケア・ライフケア



ビジョンケア (前年同期比: +54.4億円 +5.1%)

① 1DAY (前年同期比: +25.1億円 +8.8%)

- ・ 国内を中心とした1DAY販売拡大
- ・ 国内での価格改定効果*(+12.4億円)

② オルソケラトロジー関連 (前年同期比: △1.1億円 △0.7%)

- ・ 国内/シンガポール/韓国でのオルソK販売拡大
- ・ 中国での競争環境激化等による影響

③ その他コンタクトレンズ・レンズケア (前年同期比: +30.4億円 +4.8%)

- ・ 国内での価格改定効果*(+25.8億円)
- ・ 欧州での1MONTH販売拡大

④ ヘルスケア・ライフケア (前年同期比: △1.4億円 △1.5%)

- ・ 国内での価格改定効果や米国への販路拡大
- ・ 中国での食品事業規模縮小

* 国内での価格改定効果合計: +38.3億円

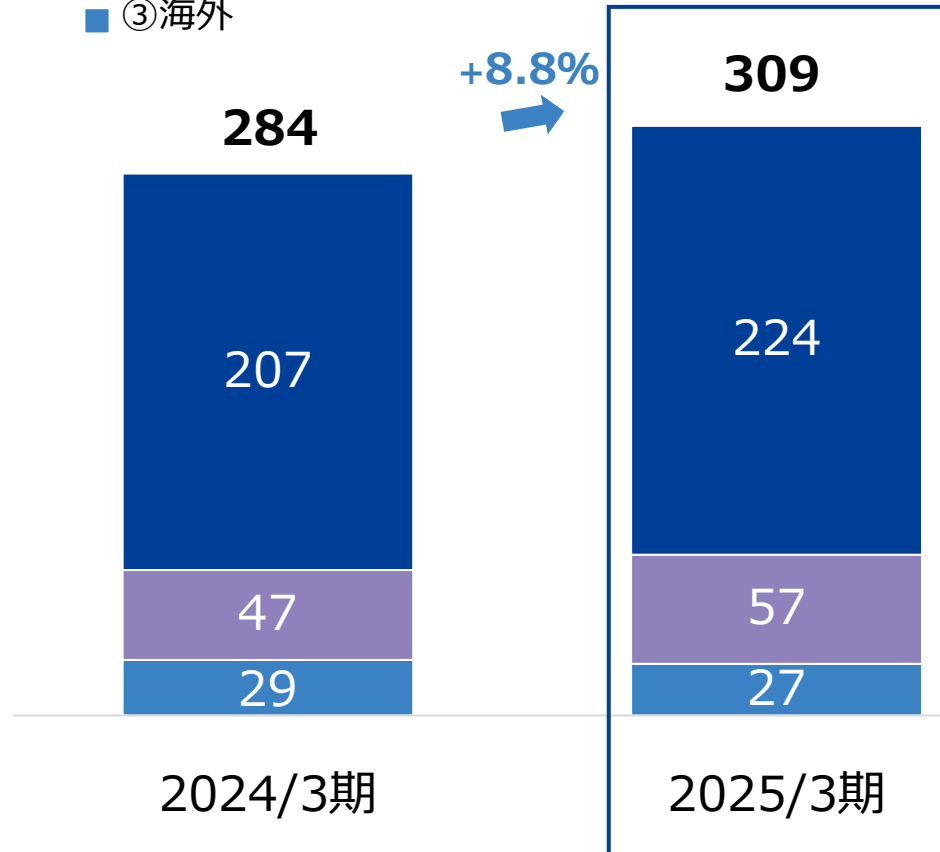
1DAY売上高（売上高の内訳）

国内での価格改定効果に加え、1DAYユーザー数増加及び国内での販売拡大により伸長

(億円) ■ ①国内_メルスプラン

■ ②国内_物販

■ ③海外



① 国内_メルスプラン（前年同期比：+17.1億円 +8.3%）

- ・ 供給量増加により会員数増加
- ・ 価格改定効果(+11.2億円)

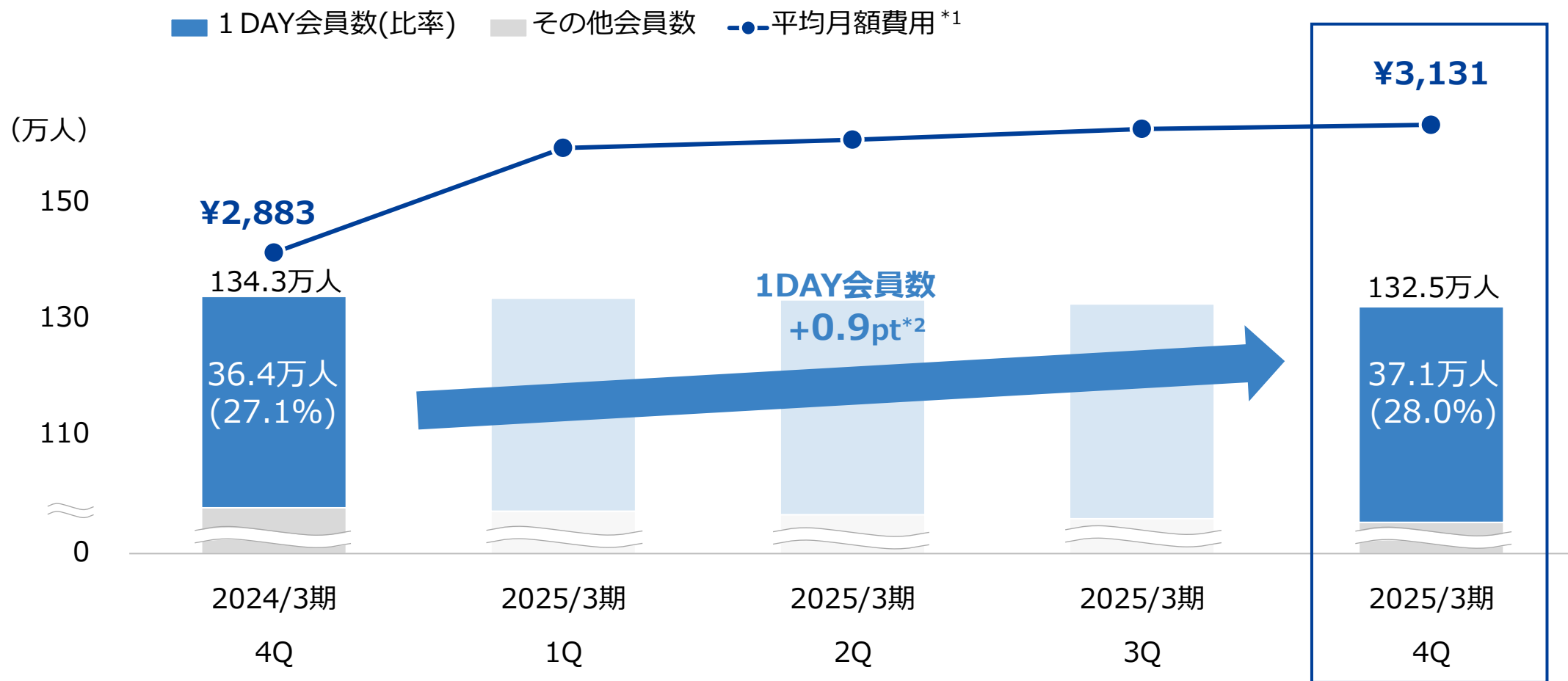
② 国内_物販（前年同期比：+10.2億円 +21.9%）

- ・ 供給量増加により販売拡大
- ・ 価格改定効果(+1.1億円)

③ 海外（前年同期比：△2.3億円 △7.9%）

- ・ 需給ひっ迫による販売数量のコントロール実施
- ・ 中国での新たな販売先への切り替えに伴う一時的な販売減少

1DAYや遠近両用など高単価レンズの構成比率上昇及び価格改定により平均月額費用が上昇



*1 平均月額費用 = メルス売上高 ÷ 決算月数 ÷ メルス会員数

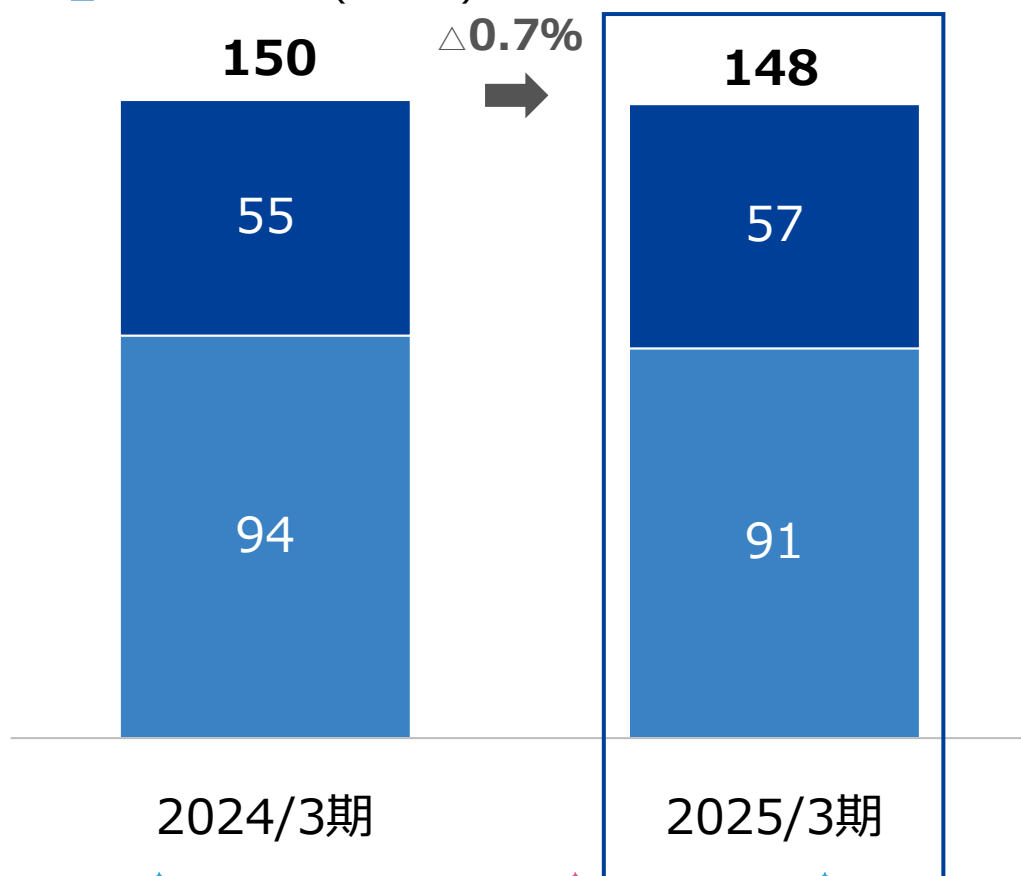
*2 MiruファーストコンタクトでのMagic会員を含めると+1.1pt

オルソケラトロジー関連売上高（売上高の内訳）

国内/シンガポール/韓国で販売拡大する一方、中国での景気停滞影響や競争環境激化等により横ばい

(億円) ■ ①オルソK(グローバル)

■ ②レンズケア(アジア)



① オルソK(グローバル)（前年同期比：+2.1億円 +3.8%）

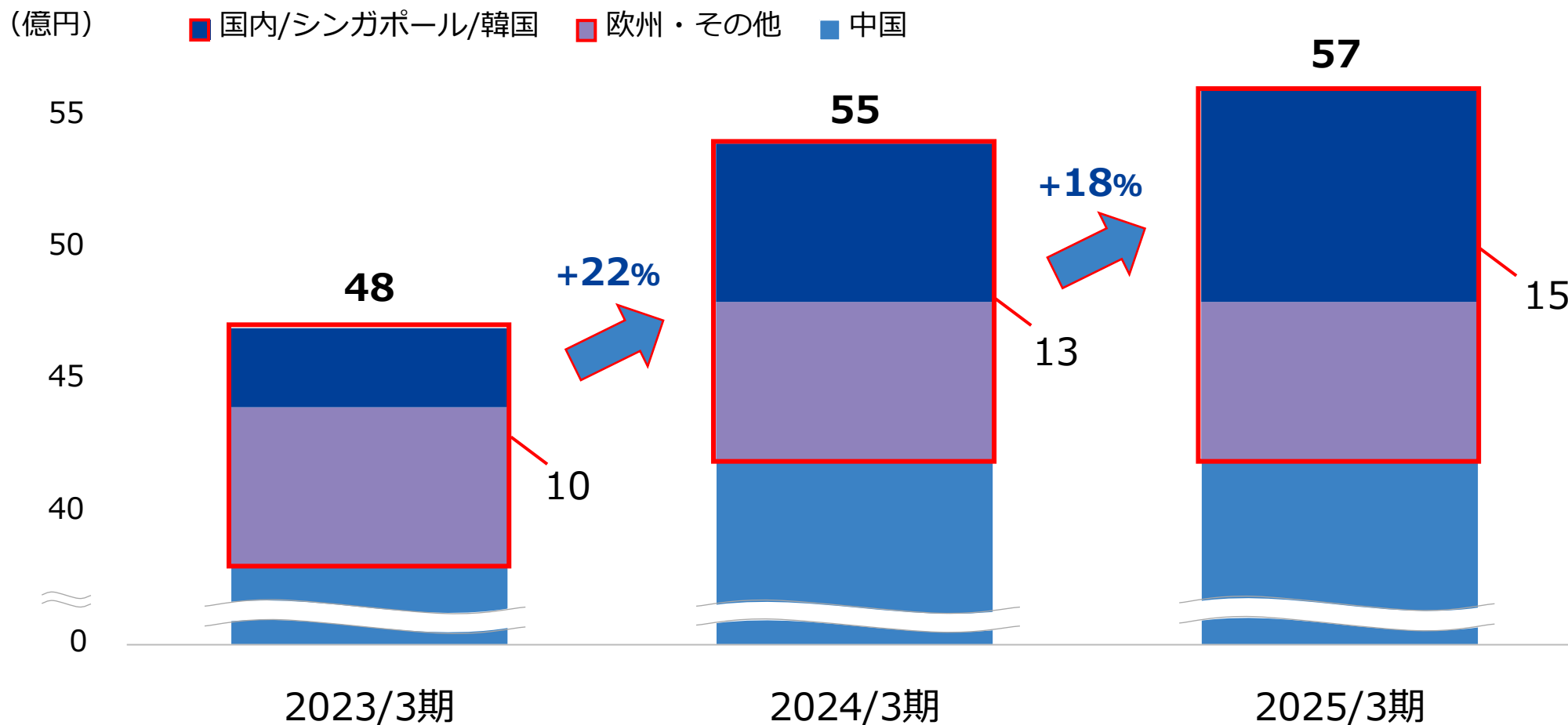
- ・ 国内：当社取扱施設拡大（+1.2億円）
- ・ シンガポール/韓国：販売拡大（+0.6億円）
- ・ 中国：景気停滞による代替製品の普及等により販売減少（△0.2億円）

② レンズケア(アジア)（前年同期比：△3.2億円 △3.4%）

- ・ 中国：景気停滞影響及び競争環境激化の長期化による販売単価の低下（△4.0億円）

オルソケラトロジーレンズ売上高推移

当社製品の取扱施設拡大や市場拡大により、国内/シンガポール/韓国を中心に大幅な伸長を継続



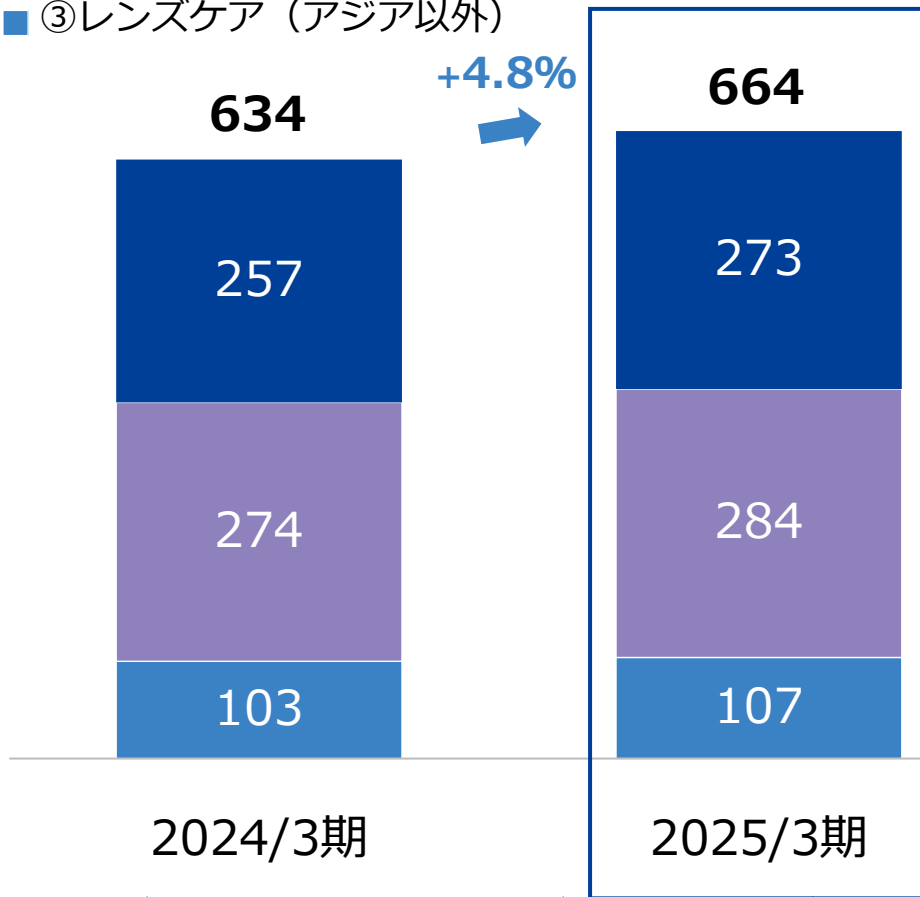
その他コンタクトレンズ・レンズケア売上高（売上高の内訳）

国内での価格改定効果に加え、欧州での1MONTH販売拡大等により伸長

（億円） ■ ①メルスプラン

■ ②コンタクトレンズ

■ ③レンズケア（アジア以外）



① メルス（前年同期比：+16.0億円 +6.2%）

- ・ 会員数減少するも価格改定効果(+22.7億円)で伸長
- ・ 高単価の遠近両用タイプの会員数増加

② コンタクトレンズ（前年同期比：+10.5億円 +3.8%）

- ・ 国内：+0.3億円（198億円→198億円 +0.2%）
価格改定効果(+3.0億円)
- ・ 海外：+10.1億円（75億円→85億円 +13.4%）
欧州での販路拡大による1MONTH販売拡大

③ レンズケア（アジア以外）（前年同期比：+3.8億円 +3.7%）

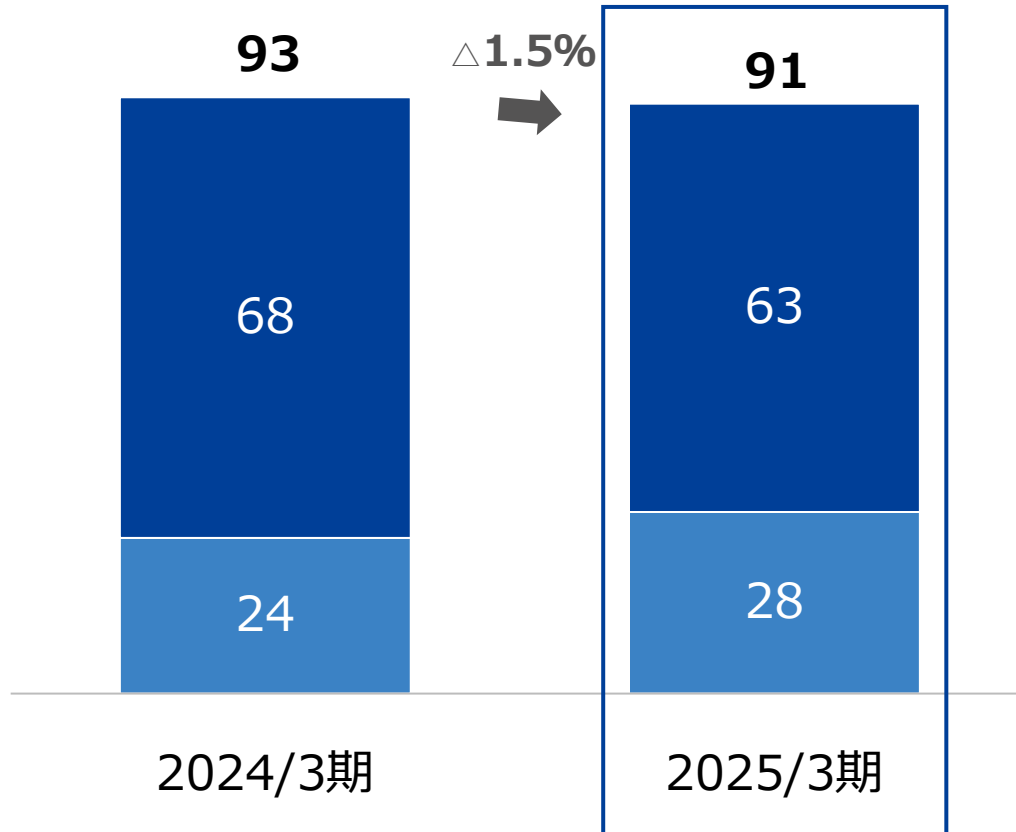
- ・ 国内：+2.8億円（48億円→51億円 +5.9%）
高単価商品の販売拡大
- ・ 海外：+0.9億円（55億円→56億円 +1.7%）
北米での販売拡大

ヘルスケア・ライフケア売上高

中国での食品事業規模が縮小する一方、環境関連商材等の売上高増加により横ばい

(億円) ■ ①食品事業

■ ②その他



① 食品事業 (前年同期比：△4.6億円 △6.9%)

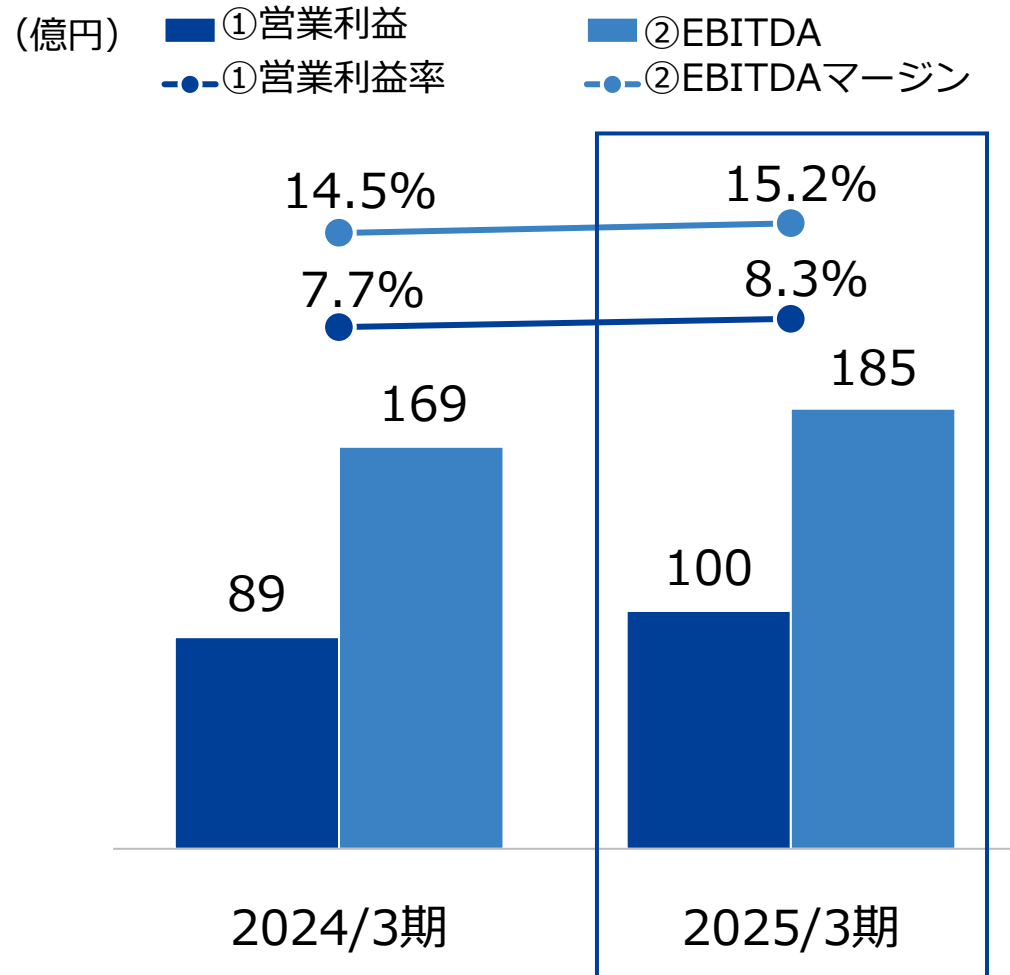
- ・ 国内：価格改定効果等により伸長
- ・ 米国：販路拡大
- ・ 中国：日本からの輸入食品事業の規模縮小

② その他 (前年同期比：+3.2億円 +13.1%)

- ・ 環境関連商材や動物医療ビジネス等の売上高増加

連結営業利益・EBITDA

将来の成長のための投資実行する一方、国内価格改定効果や活動費用の効率化により増益



1 営業利益 (前年同期比：+**10.9**億円 +**12.3**%)
営業利益率 (前年同期比：+**0.6**pt)

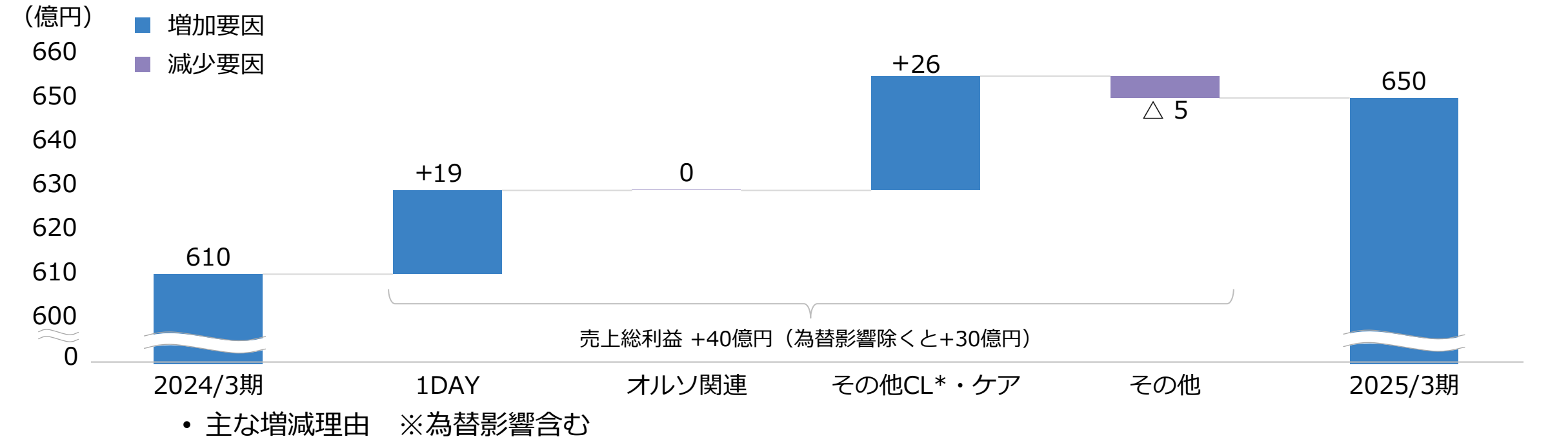
- 売上総利益：+**40.6**億円 (610億円→**650**億円)
1DAY等の販売拡大、国内での価格改定効果
- 販管費：+**29.6**億円 (520億円→**550**億円)
成長投資（新工場、人的補強、研究開発）を強化しつつ、広告販促など活動費用を効率化

2 EBITDA (前年同期比：+**16.0**億円 +**9.5**%)
EBITDAマージン (前年同期比：+**0.7**pt)

- 減価償却費：+**3.8**億円 (75.5億円→**79.3**億円)
1DAY投資、マレーシア工場建物分増加

前年実績と今回実績の増減分析（売上総利益）

国内1DAY及び欧州1MONTHの販売拡大等、中国オルソ関連以外のビジョンケア事業は堅調に推移

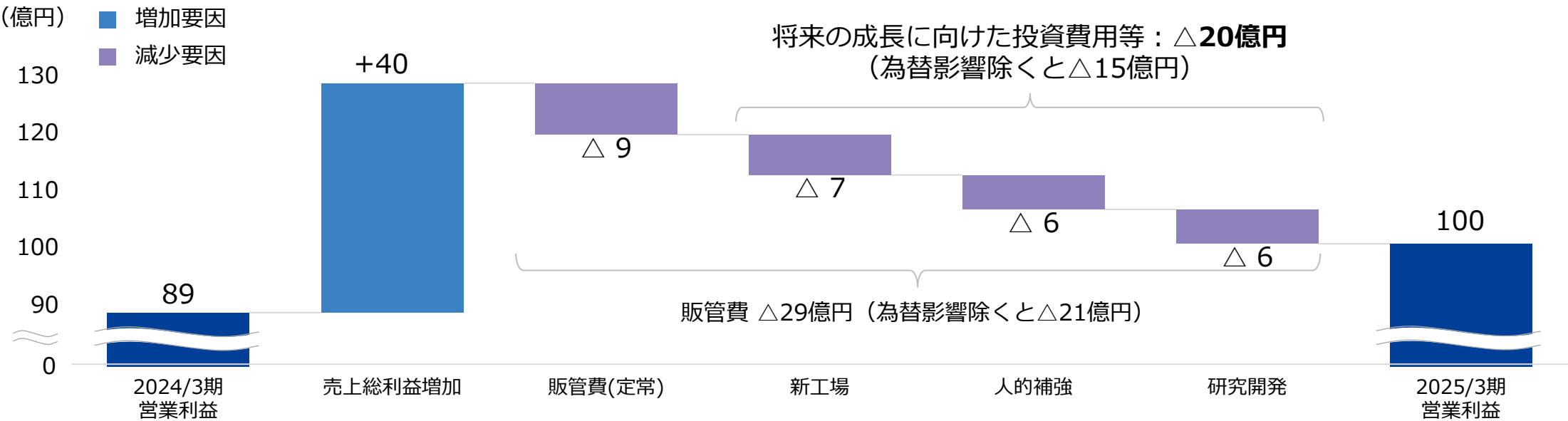


項目	
1DAY	メルスプラン1DAY会員数増加や国内での物販拡大、価格改定効果
オルソ関連	国内/シンガポール/韓国で販売拡大する一方、中国での競争環境激化等により横ばい
その他CL*・ケア	欧州での1MONTH販売拡大、国内での価格改定効果
その他	ヘルスケア・ライフケアでの売上減少による影響、食品事業での原価率上昇等

* コンタクトレンズの略称

前年実績と今回実績の増減分析（営業利益）

将来の成長のための投資実行する一方、広告販促など活動費用の効率化により増益



・ 販管費(定常)の主な内訳 ※為替影響含む

項目		金額 (億円)
事務委託費	M&A関連費用, 欧州物流センター関連費用等	△3
賃借料	グローバルロジセンター稼働開始等	△3

・ 将来の成長に向けた投資費用の主な内訳 ※為替影響含む

項目		金額 (億円)
新工場	1DAY新生産拠点であるマレーシア工場の稼働準備	△7
人的補強	国内外での賃上げ、人員増強等	△6
研究開発	新製品の開発・治験費用、研究人員増加等	△6



連結貸借対照表サマリー

(百万円)	2024/3末	2025/3末	増減額
現金・預金	46,911	42,046	△4,865
受取手形・売掛金	13,340	13,641	+300
棚卸資産	18,803	21,218	+2,415
その他	6,716	5,762	△953
流動資産	85,771	82,669	△3,102
有形固定資産	75,508	83,064	+7,556
無形固定資産	11,668	15,287	+3,618
投資その他	6,863	6,261	△601
固定資産	94,040	104,613	+10,572
資産合計	179,812	187,282	+7,470

1DAY工場
設備投資等

(百万円)	2024/3末	2025/3末	増減額
支払手形・買掛金	6,181	6,419	+238
短期有利子負債	26,217	3,234	△22,983
未払金	7,338	7,381	+42
その他	10,316	9,457	△858
流動負債	50,053	26,492	△23,561
長期有利子負債	44,580	71,857	+27,276
その他	3,372	2,778	△594
固定負債	47,953	74,635	+26,682
負債合計	98,007	101,127	+3,120
純資産合計	81,804	86,154	+4,349

転換社債償還等

普通社債発行及び
シジケートローン実行等

自己資本比率	45.5%
ネットD/Eレシオ	0.4

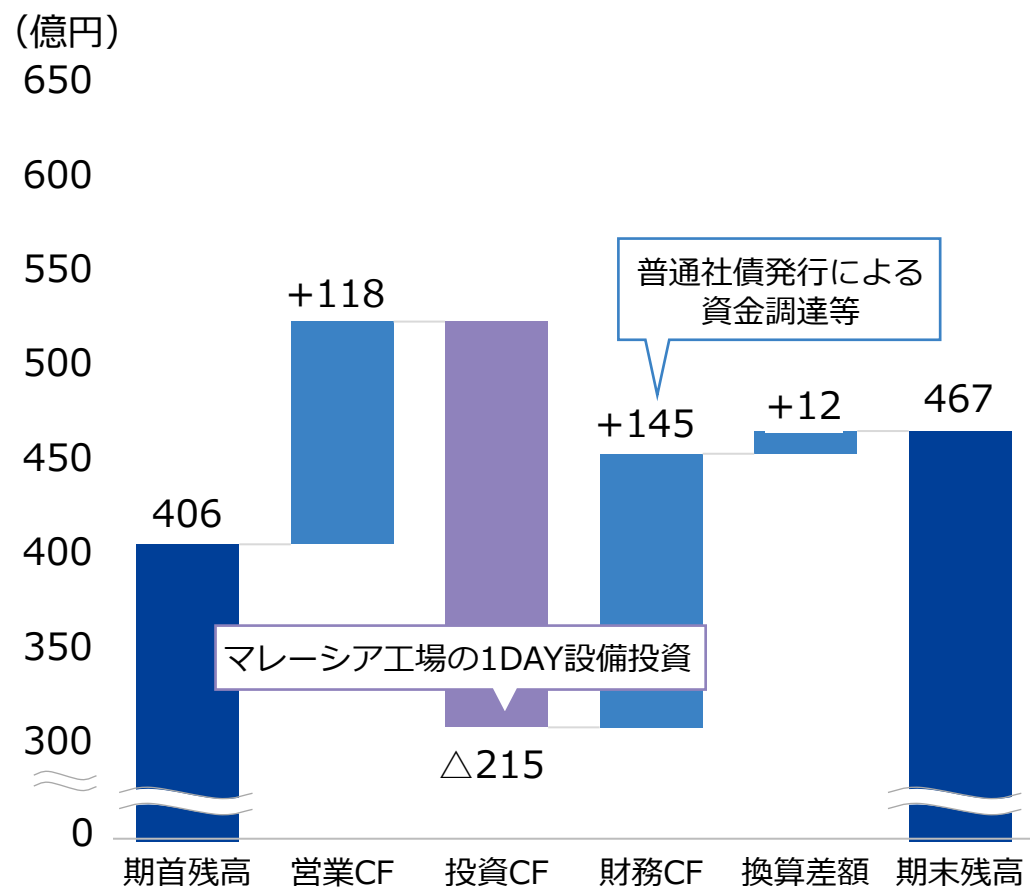
2025年3月31日

現金・預金残高	42,046
有利子負債	75,091

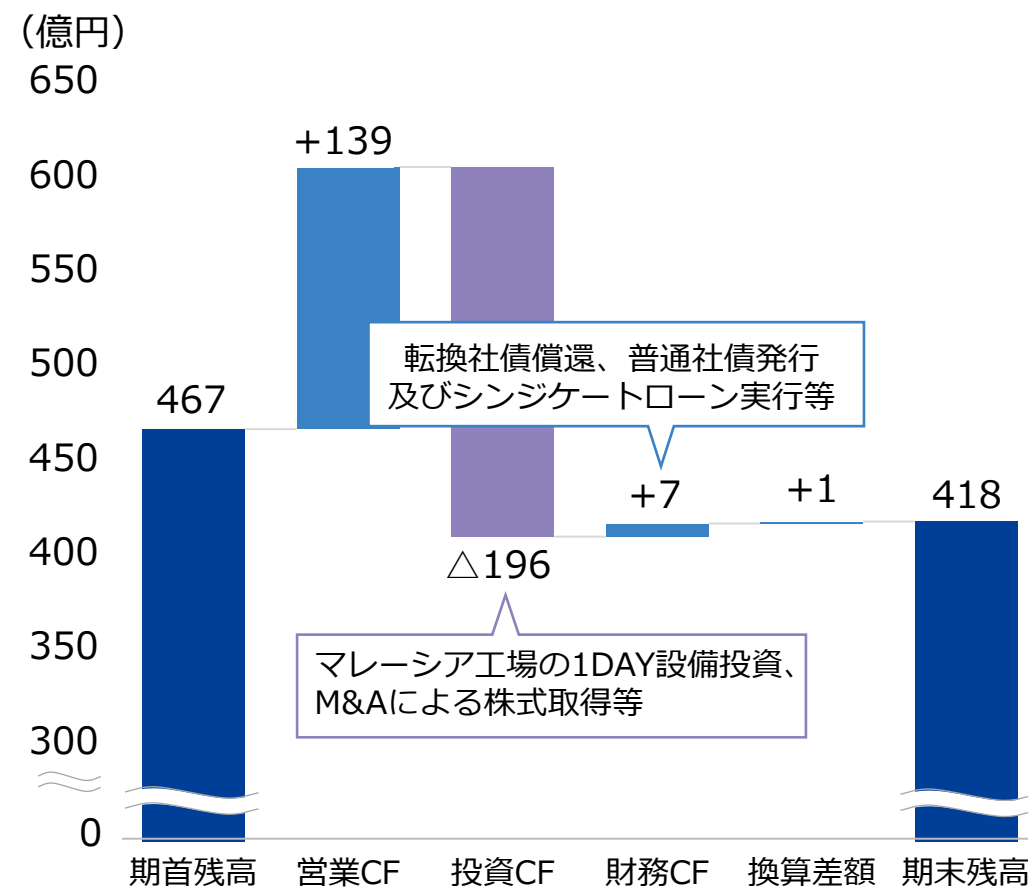
主に1DAY工場への設備投資資金に充当予定

連結キャッシュフロー比較

2024/3期



2025/3期



Ⅱ.2026年3月期通期 連結業績予想と見通し

2026年3月期 連結業績予想

(百万円)	2025/3期	2026/3期 予想	前年同期比
売上高	121,491	125,000	+2.9%
売上原価	56,411	58,900	+4.4%
(原価率)	46.4%	47.1%	(+0.7pt)
売上総利益	65,080	66,100	+1.6%
販売費及び一般管理費	55,028	55,900	+1.6%
(売上高販管費率)	45.3%	44.7%	(△0.6pt)
営業利益	10,051	10,200	+1.5%
(売上高営業利益率)	8.3%	8.2%	(△0.1pt)
EBITDA	18,502	19,200	+3.8%
(EBITDAマージン)	15.2%	15.4%	(+0.2pt)
経常利益	9,607	9,500	△1.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,621	5,800	+3.2%

(参考) 為替影響を除くと売上高は+4.4%の伸長を予想

* 2025/3期における実勢レート EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円
 2026/3期(予想)における前提為替レート EUR : 161.2円、USD : 142.6円、CNY : 19.0円

売上高の内訳

(百万円)	2025/3期	2026/3期 予想	前年同期比	前年同期比 (為替影響なし)
売上高	121,491	125,000	+2.9%	+4.4%
ビジョンケア	112,327	116,100	+3.4%	+4.9%
1DAY	30,940	34,700	+12.1%	+12.6%
国内_メルスプラン	22,458	23,300	+3.7%	-
国内_物販	5,740	7,000	+21.9%	-
海外	2,742	4,400	+60.5%	+65.3%
オルソケラトロジー関連	14,889	12,500	△16.0%	△8.1%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	66,496	68,900	+3.6%	+4.3%
ヘルスケア・ライフケア	9,163	8,900	△2.9%	△1.7%

(参考)

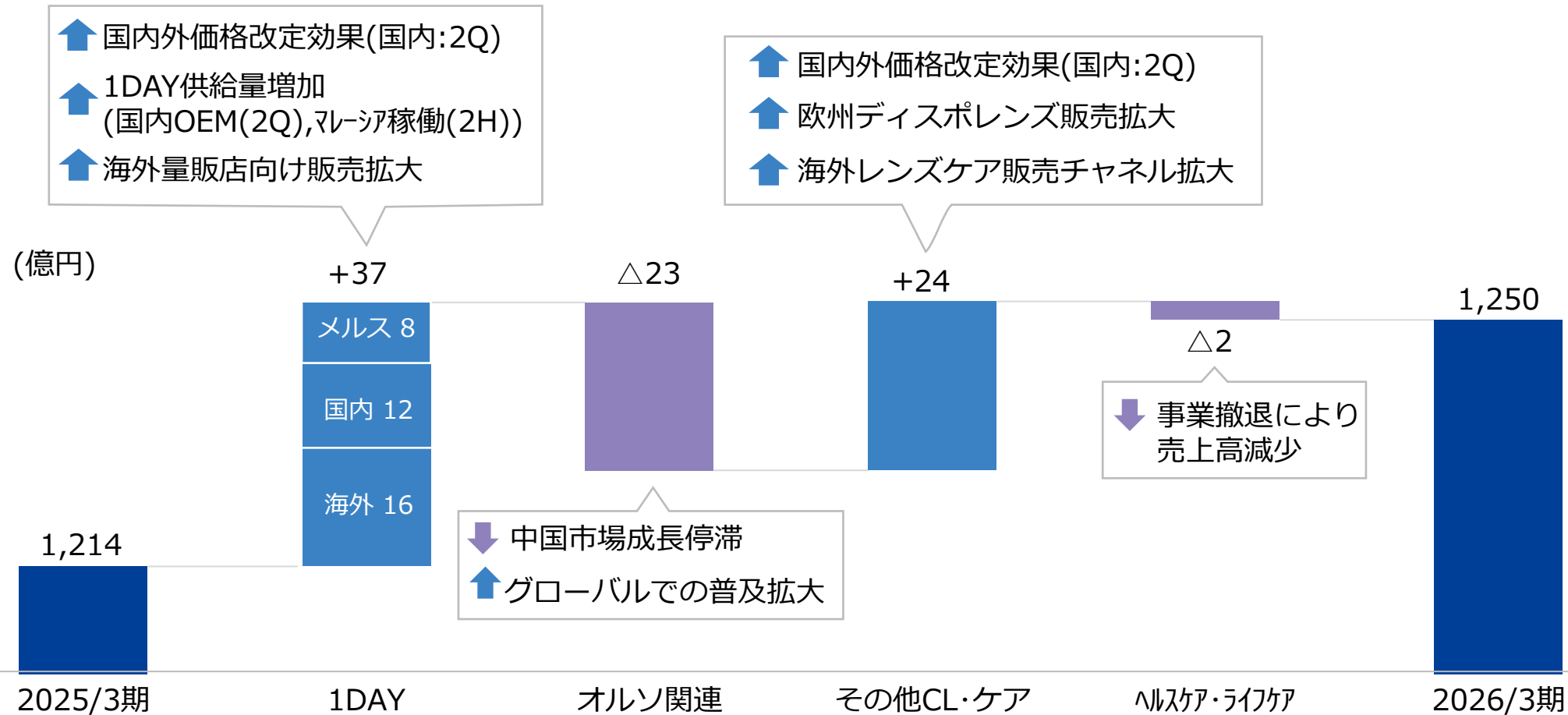
1DAY+その他コンタクトレンズ・レンズケア	97,437	103,600	+6.3%	+6.9%
メルスプラン	49,783	51,000	+2.4%	-

* 2025/3期における実勢レート EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円
 2026/3期(予想)における前提為替レート EUR : 161.2円、USD : 142.6円、CNY : 19.0円



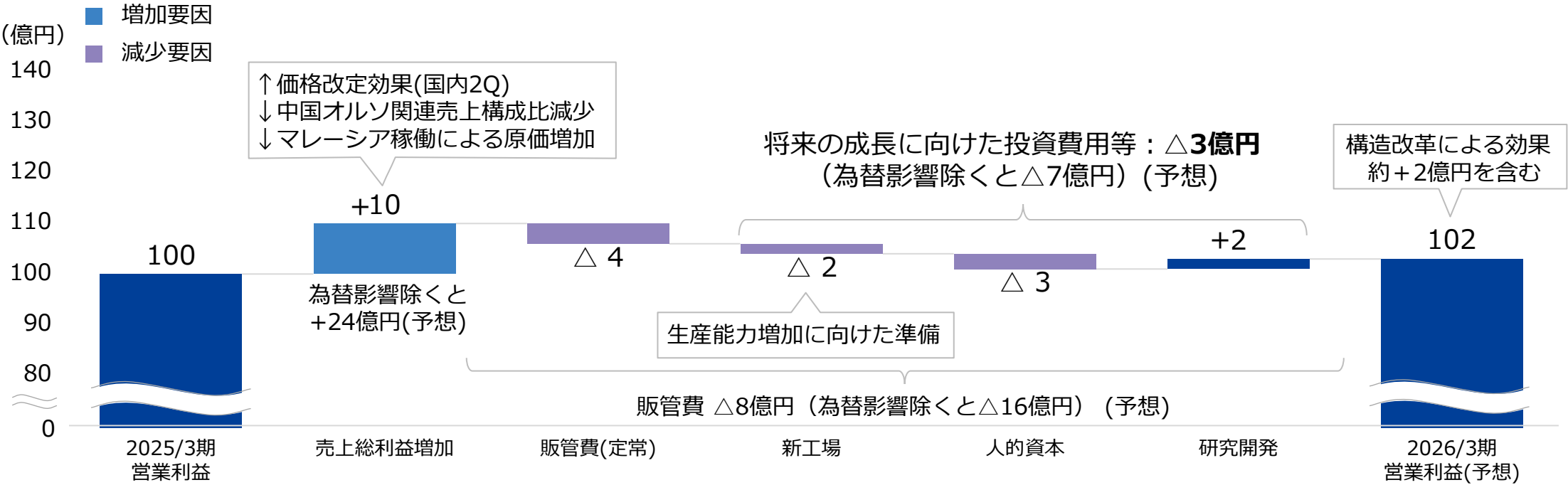
2026年3月期の売上高見通し

為替影響(△約19億円を想定)、中国における景気停滞の影響を加味
2Q以降の国内価格改定効果や1DAY供給量増加により売上増加見込



25/3期実績と26/3期予想の増減分析（営業利益）

上半期は費用先行するも、下半期以降に売上拡大により利益が伸長する見込み



・ 将来の成長に向けた投資費用等

	項目	金額（億円）
新工場	1DAY新生産拠点であるマレーシア工場の稼働準備	△2
人的資本	賃上げ等人員への投資	△3
研究開発	製品展開国の拡大や新製品の開発	+2

Ⅲ.中期経営計画（アップデート）

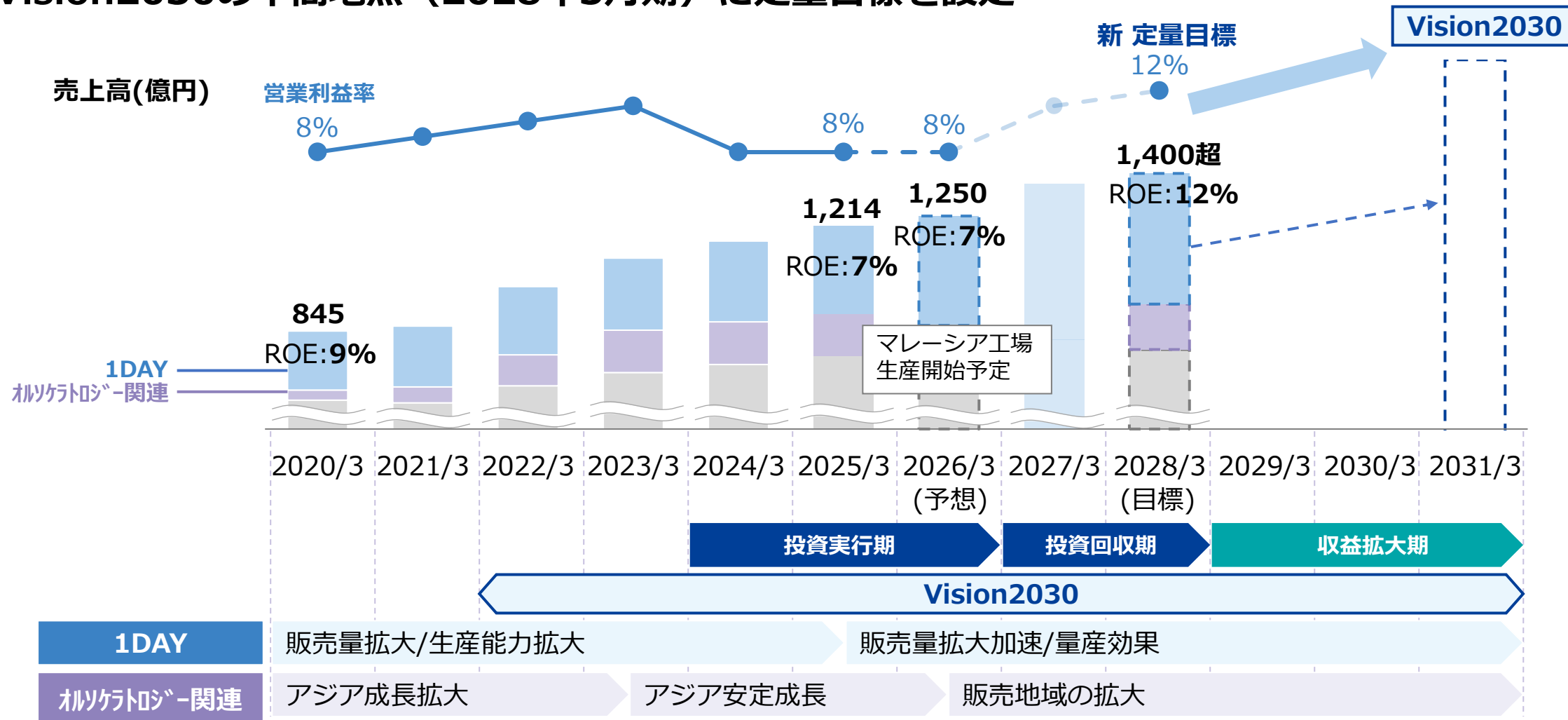
- ・ マイルストーン2027（変更無し）
- ・ 成長戦略目標（変更）
- ・ PBR改善に向けた取り組み
（構造改革による資本収益性の改善）

中期経営計画書は以下よりご確認ください。

<https://www.menicon.co.jp/company/ir/plan.html>

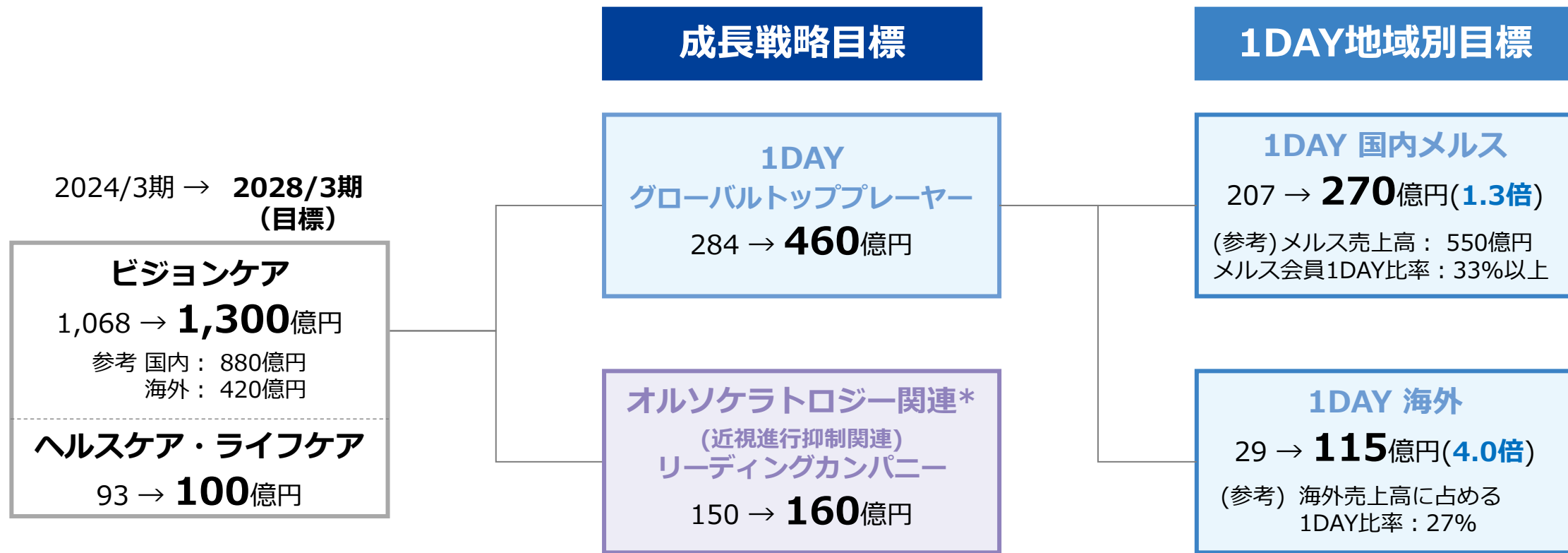
マイルストーン2027の進捗（変更なし）

Vision2030の中間地点（2028年3月期）に定量目標を設定



成長戦略目標 & 1DAY地域別目標（変更）

成長戦略を実現する事で目標達成を見込む



*オルソケラトロジーレンズ（グローバル）
及び レンズケア（アジア）の合計

投資実行期はサプライチェーンの強化により国内で販売量上乘せ、欧州・北米中心に投資回収期に向けて販売拡大加速

国内 ➡

2Q:販売開始
予定

製品	- 投資実行期：需給がひっ迫しているシリコン素材 1 DAYはOEM品導入により数量確保 - 投資回収期：シリコン素材 1 DAY増産分を配荷
販売	- 約1,600店舗で展開のメルスプラン - 約170店舗のグループ販売店活用 需給に合わせた価格改定の実施
狙い	基盤事業として安定的に成長させる

2Q:メルスプラン改定
物販改定予定

中国 ➡

製品	- 投資実行期：環境配慮型 1 DAY投入 - 投資回収期：シリコン素材 1 DAY増産分を配荷
販売	ECチャネル専門代理店と提携して自社ブランド育成 & 売上拡大
狙い	市場成長率の高いマーケットで自社ブランドを構築し販売拡大

1Q:販売開始
予定

欧州・北米 ⬆

製品	- 投資実行期：シリコン素材 1 DAY増産分を優先的に配荷,環境配慮型の 1 DAY積極販売 - 投資回収期：増産によりシリコン素材 1 DAY供給量増加
販売	- 各エリアで有力な大手量販チェーンとの取引開始 - 既存取引先における販売エリア拡大
狙い	シェア拡大のポテンシャルがあるため、投資回収期における販売規模拡大に向け早期にシリコン素材 1 DAYの供給を開始

2H:マレーシア稼働予定

1Q:北欧開始予定

*M&Aによる新たな販路の開拓を含む



中長期的な需要拡大を見据え1DAYの生産体制を増強

シリコン素材



各務原工場

製造品： 1DAYメニコン プレミオ
販売地域：グローバル

2027/3期下期：12号ライン稼働予定



マレーシア工場

製造品： 1日使い捨てコンタクトレンズ
販売地域：グローバル

2026/3期下期：1号ライン稼働予定

2027/3期下期までに5号ラインまで増設予定

2028/3期下期までに8号ラインまで増設予定



環境配慮型/非シリコン素材



シンガポール工場

製造品： Magic
販売地域：グローバル

2026/3期下期：9-10号ライン稼働予定



オルソケラトロジー関連の販売戦略

オルソケラトロジーレンズ（グローバル）：複数製品 × 多国展開による販売
レンズケア（アジア）：オルソケラトロジーレンズとセットで販売

欧州・北米(オルソケラトロジーレンズ) ➡

⇒ 認知拡大, 処方家育成による普及拡大

- 学術活動を通じた認知拡大
- ⇒ 処方簡便化によるシェア拡大
- ソフトウェア開発による処方サポート向上

中国(オルソケラトロジーレンズ) ➡

⇒ 新たな処方家・ユーザー層の取り込みによるシェア拡大

- 処方家のレベルに合わせた製品提供 (高いカスタマイズ性/簡便処方)
- 顧客の購買力に合わせた製品を提供 (高価格帯/中価格帯)

2Q販売開始予定

中国(レンズケア) ➡

⇒ 新たなユーザー層の取り込みによる数量維持

- 製品特徴を生かした販売拡大 (日本製/高い洗浄消毒効果)
- 顧客の購買力に合わせた製品を提供 (高価格帯/中価格帯)

中国を除くアジア(オルソケラトロジーレンズ) ⬆

⇒ 認知拡大, 処方家増加による普及拡大

- KOLを通じた認知拡大活動
- 処方家育成センター開設
- ⇒ 製品力・販路拡大によるシェア拡大
- 日本製, 高いカスタマイズ性で差別化
- 流通経路の拡大 (自社グループ活用/新規チャネル開拓)

中国を除くアジア(レンズケア) ⬆

⇒ オルソレンズと共に販売拡大

- オルソケラトロジーレンズとのセット販売

製品展開国数：約**35**カ国

PBR改善に向けた取り組み

構造改革による資本収益性の改善を推進



構造改革（2025年3月期着手）

- ・ **中国オルソ関連事業の効率化**
⇒中国景気停滞、競争激化に起因したケア用品生産設備の減損損失
(短期) 資本効率の適正化
(中期) 中国オルソ関連事業運営体制の再構築による収益性の改善
- ・ **ヘルスケア・ライフケア事業の一部撤退**
⇒動物共生事業(&D)、一部QOLサプリ(ヘルスケア領域)の事業撤退
(短期) 不採算事業撤退による収益性の改善
(中期) 事業ポートフォリオの見直し継続、収益性・効率性の高い新たな事業の創出
- ・ **欧州子会社の組織再編**
⇒複数の生産・物流体制等の機能を一部統合
(短期) 費用削減による収益性・効率性の改善
(中期) 組織再編による効率化を継続

IV.株主還元方針と配当予想

(円)

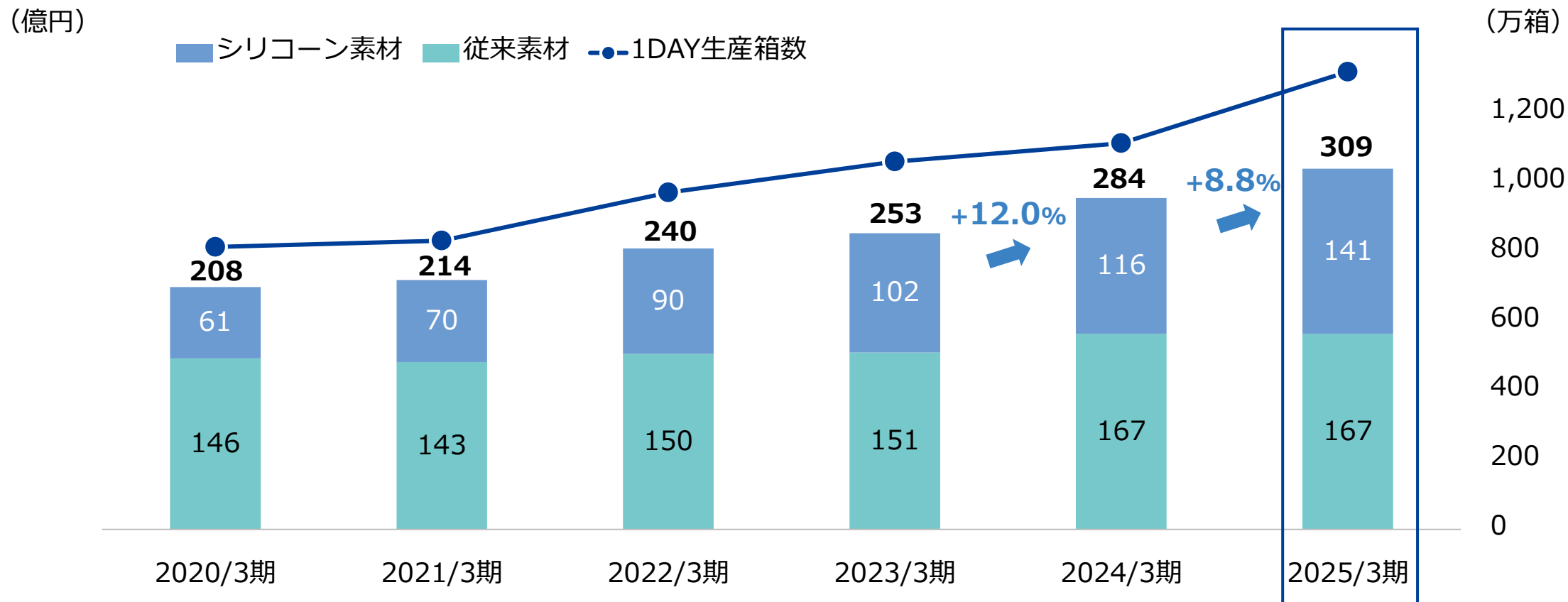
1株当たり配当金

期	1株当たり配当金 (円)
2022年3月期	20
2023年3月期	25
2024年3月期	25
2025年3月期	28
2026年3月期(予想)	28

31

参考資料

生産能力の増強により1DAY売上高が増加

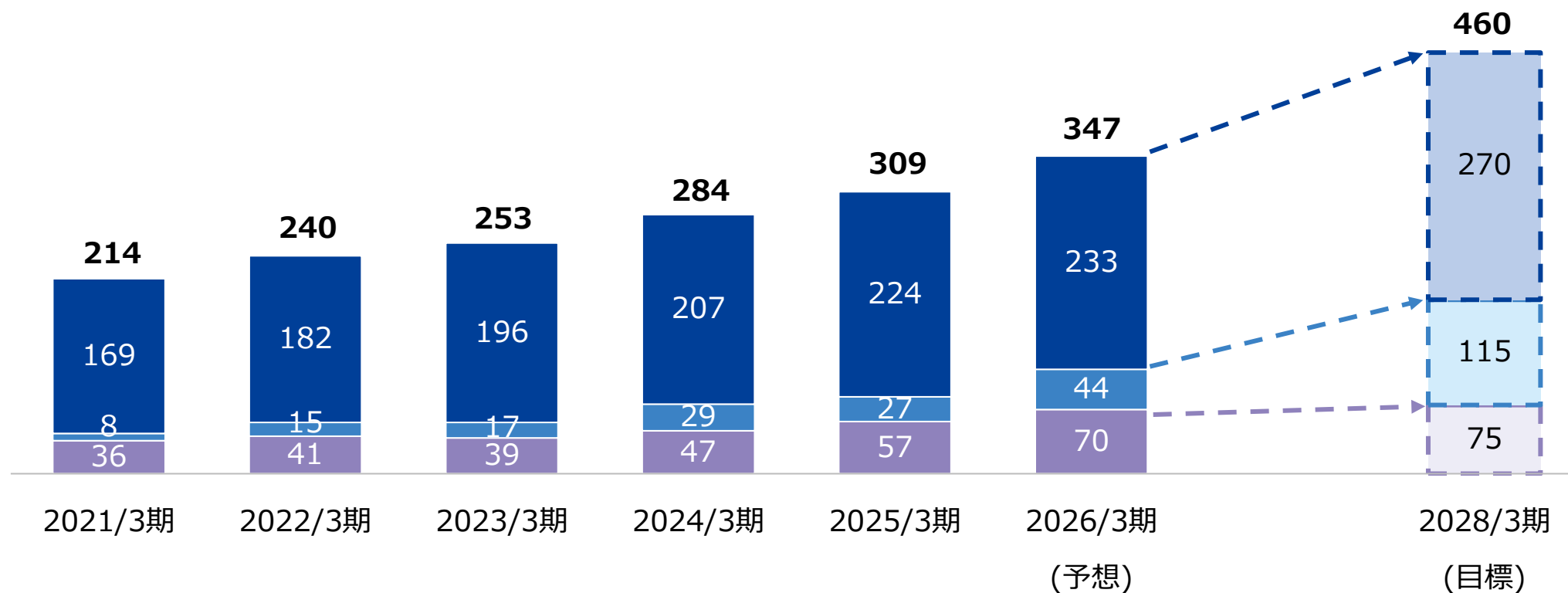


*1DAY売上高：他社からのOEM供給品を含む

1DAY売上高予想（売上高の内訳）

国内OEM品導入及び生産能力増強に伴い、メルス(1DAY会員数増加)・海外(欧米中心に販売拡大)での伸長を見込む

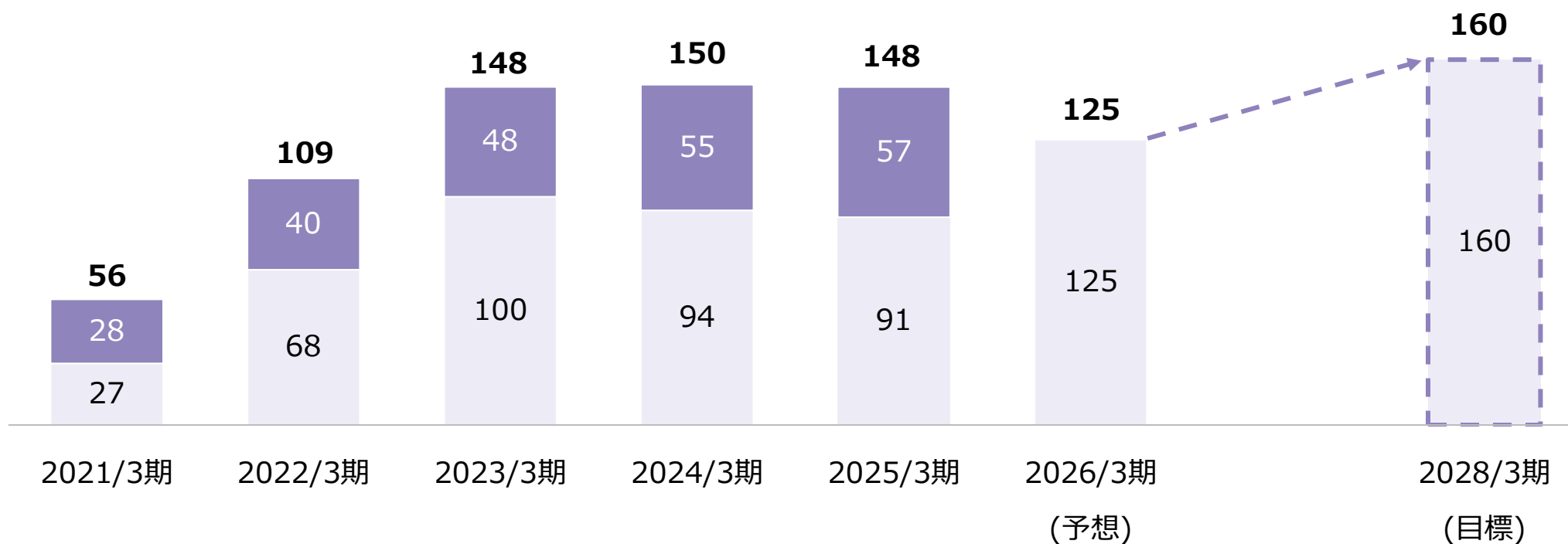
(億円) ■ メルス ■ 海外 ■ 国内物販



オルソケラトロジー関連売上高予想（売上高の内訳）

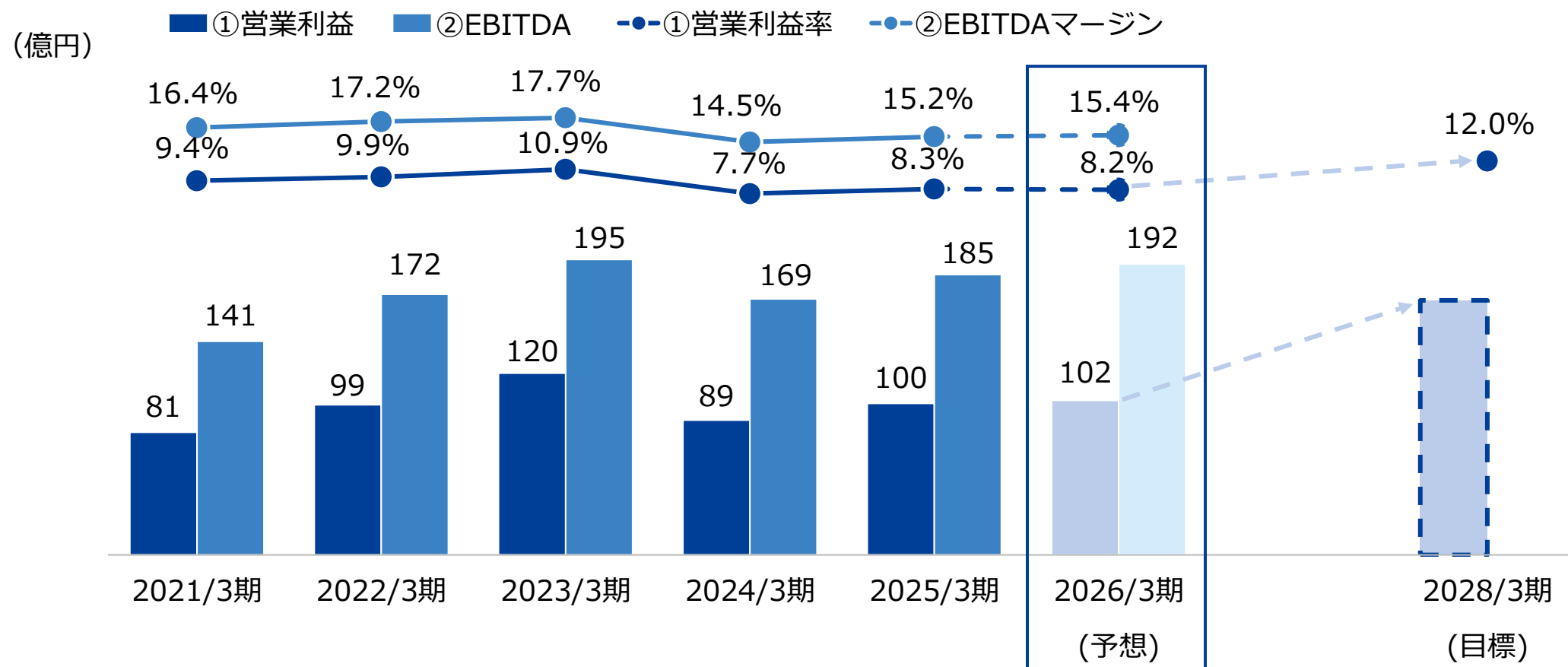
中国市場成長停滞による売上減少もその他地域での伸長を予想

(億円) ■ オルソK(グローバル) ■ レンズケア(アジア)

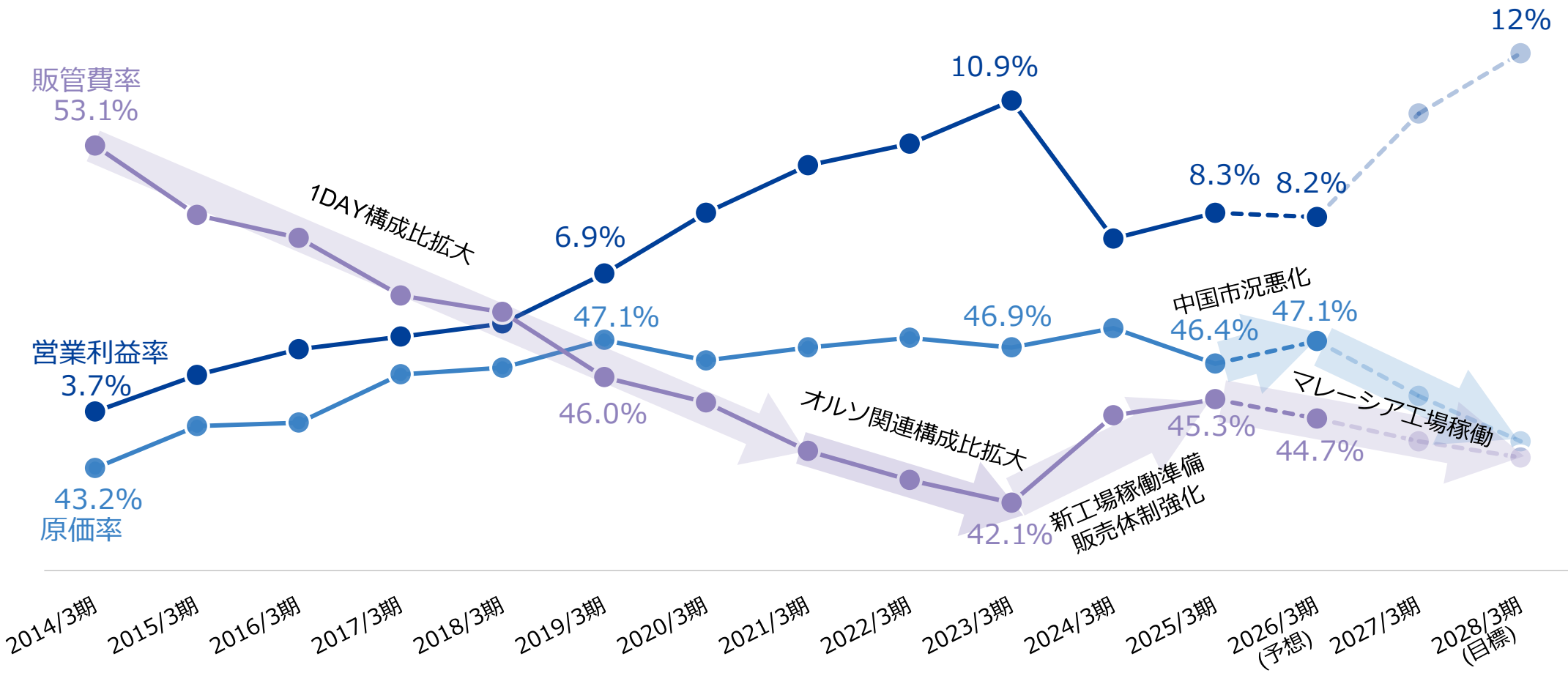


連結営業利益・EBITDA予想

マレーシア工場等の減価償却費の計上を見込むため、EBITDAマージンは増加を予想



原価率・売上高販管費率・営業利益率推移



ライフケア



フェムテック商材
開発・販売

- ・ 妊活サプリメント
- ・ その他フェムテック商材等



**グリーンインフラ
開発・販売**

農業/畜産向け

- 堆肥化促進材
- 稲わら分解促進材
- 等



開発・販売

動物病院向け/EC販売等

- 動物用眼内レンズ
/コンタクトレンズ
/手術用機器
- 動物用サプリメント等



販売

食品スーパー/卸業者向け

- ・ 鮮魚・米（輸出）
- ・ 乾物等（輸入）

免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです
- 当資料に記載された内容は、2025年5月16日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります
- 投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません

お問合せ先

株式会社メニコン 財務&IR部

TEL : 052-935-1646

E-mail : menicon-ir@menicon.co.jp

www.menicon.co.jp/company

